

◆長崎大学に留学したきっかけは何ですか？

中学生の頃に見ていた日本のテレビ番組が大好きで、日本語に興味を持ったことが最初のきっかけです。地元の専門学校で日本語を学んでいるうちに、「もっと日本語に触れたい」「もっと日本語がうまくなりたい」と思うようになり、留学を決意しました。

長崎へ来る前、大阪の日本語学校に1年間通っていました。日本の大学で同世代の人と学生生活を送りたいという気持ちもあったので、日本語学校の先生に相談。私のような中国系の留学生が比較的少ない大学・学部を希望したところ、長崎大学教育学部を勧められました。長崎はまちの雰囲気や自然も素晴らしいと聞き、興味が倍増。もともと都会より、自然の多い場所が好きなので、長崎大学へ行くことを決めました。今は日本語漬けの楽しい毎日を送っています。

◆王さんにとって、日本語の魅力は？

たくさんの日本人と心を通わせたり、日本人と同じ目線で物事を見たり、感じたりできる点です。人と話しているときはもちろん、日本語の本やテレビを見て、繊細な描写やおもしろい表現が理解できた時はワクワクします。台湾語にはない表現がたくさんあることも魅力です。

◆学生生活で得た新たな発見はありますか？

去年10月、初めて附属小学校での教育実習を経験しました。それまで一度にたくさんの子とも達とふれあう機会はなかったのですが、前日はかなり緊張しました。

# 留学生のキャンパスライフ



台湾  
Taiwan



将来は、日本語を通して  
たくさんの人と  
コミュニケーションできる仕事がしたい

附属小学校で  
6年生の教育実習を  
行う王さん。  
国語の授業で  
宮沢賢治を  
取り上げました。



中国各地の出身者や、地元住民など異なる民族からなり、自然豊かで緑に恵まれている台湾。  
美しい景勝地の他、約18,400種の野生動物が生息し、世界的に知られる生態保護地域があります。  
台湾はたくさんの民族文化が融合しており、特に「食」は中国各地の料理に加え、日本、韓国料理など実に多様。「グルメ王国台湾」として世界的に有名です。



日本のテレビ番組が大好きという王さん。特にドラマのストーリー展開がおもしろく、夢中になっているとか。テレビを見ていて分からない言葉があると、番組そっちのけで、言葉を調べてしまうことも多いそうです。

オウ テンテイ  
王 恬婷さん  
Wang Tian-Ting  
教育学部初等教育コース4年



担当クラスの子ども達から  
もらった感謝状。  
王さんの  
かけがえのない  
宝物です。

それから、子ども達が本当に自分の日本語を理解してくれるのか、台湾人の私を受け入れてくれるのか、すごく不安だったことを覚えています。でも、実習をやってみると、子ども達が私に興味を持ってきて、「台湾の事を教えてー」と、駆け寄ってきてくれた時はとてもうれしかったです。この実習で、年齢に関係なく、いろんな人とコミュニケーションをする楽しさを学ぶ事ができました。

◆逆に、日本の生活で  
ギャップを感じることはありませんか？

日本人がよく使う「あいまい表現」は未だに慣れません。

例えば、友達と会話している時も、「それは微妙だね。」という返事がよく返ってくるんです。そんな時、どう返事していいか困りますね。だから、私の周りの友達には、「はい」「かいいえ」で、はっきり答えてもらうようにお願いしています(笑)。それから、日本に来て初めて食べた納豆も苦手です。初めて体験した味でした(笑)。

こういう場面で、台湾と日本の文化の違いを痛感させられますね。

◆王さんのこれからの夢を教えてください。

将来は、日本語を活かした職業に就くことが夢です。現在は、貿易関係や旅行関係、翻訳関係の仕事に興味を持っています。そのためにも、自分の日本語のレベルもつと磨きをかけていきたいです。仕事を通して台湾と日本の文化交流にも貢献できるように自分の視野を広げたいです。